



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ  
コード番号 3032 URL <https://www.golfdo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名  
TEL 048- 851- 3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,290	9.1	20		57		84	
2023年3月期第3四半期	4,717	10.4	129	41.8	132	41.0	79	62.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 70百万円 ( %) 2023年3月期第3四半期 100百万円 ( 54.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	33.60	
2023年3月期第3四半期	31.90	31.16

2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	3,229	747	22.2	286.62
2023年3月期	3,291	844	24.7	324.87

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 718百万円 2023年3月期 814百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,670	6.4	70		110		130		51.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	2,605,642 株	2023年3月期	2,605,642 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	99,200 株	2023年3月期	99,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,506,442 株	2023年3月期3Q	2,506,442 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8
3. 補足情報 .....	9
売上高前年対比等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復への歩みを着実に進めるとともに、緩やかにインフレへ移行している感はあるものの、5兆円を超えた訪日外国人消費（2023年）や輸出などの外需頼みの状況が続いており、個人消費の成長にも一層の加速が求められています。海外においては、地政学的な緊張や中国不動産市場の低迷によって経済の先行きに懸念が生じており、各国は経済安全保障の強化に努める一方で、世界的にインフレが収束へと向かいつつあり、米国を始めとして利下げ局面が視界に入ってきております。

リユース市場においては、コロナ禍による特需があったアウトドア系のカテゴリに関しては厳しい面もあるものの、依然として続く物価上昇に対する価格重視の需要からブランド品などへのインバウンド需要、更には円安を背景とした海外輸出まで概ね堅調に推移しており、現在進行形で市場の拡大が進んでいるものと思われま

す。ゴルフ用品市場においては、国内旅行など他のレジャー関連に支出が向けられていることに加えて、クラブなどの価格上昇の波も収まる気配は無く、盛り上がりには欠ける状況が続いておりましたが、12月は人気ブランドの新製品発売により市況が一変いたしました。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P S ゴルフデータ」によりますと、2023年10月～12月の新品クラブ及びボールなど用品類のカテゴリ合計前年同月比（販売数量ベース・金額ベース）は、10月96.7%・93.6%、11月95.0%・80.9%、12月100.2%・108.2%となっております。10月、11月は一部のメーカーが例年と比べて早々と値下げを行うものの、前年同月との比較において数量ベース、金額ベースともに大半のカテゴリが下回っており、特にウッドの苦戦が目立っております。しかしながら、12月は前述のとおり人気ブランドの新製品が発売されたことで、ウッド、アイアンがけん引して数量ベース、金額ベースの合計は共に前年同月を上回っております。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2023年10月、11月の利用者数前年同月比（ゴルフ場・練習場）\*は、10月95.5%・90.8%、11月98.3%・90.8%となりました。ゴルフ場は盛況であるとゴルファーの声を数多く聞くものの、地域間で状況が大きく異なるのか、統計では前年同月を下回っております。\*12月分は公表日の都合で記載しておりません。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、引き続き「EC戦略の強化」と「『ゴルフドゥ!』店舗の収益構造改革」に取り組んでまいりました。「EC戦略の強化」では、第一弾として9月1日にグランドオープンした「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」が10月以降も安定して推移し、「ゴルフドゥ! オンラインショップ」と合わせたEC系としての売上高は前年同月を大幅に上回りました（詳細は3. 補足情報をご参照ください）。更には12月15日に第二弾として「ゴルフドゥ!」の直営店限定ながら「メルカリShops」へ出店しており、フィールドの拡大を進めております。「『ゴルフドゥ!』店舗の収益構造改革」では、新業態である「ゴルフドゥ! NEXT」のパッケージとして、9月1日に先んじてスタートした「ゴルフドゥ! スタジオ レッスン& フィットング」を取り入れた「ゴルフドゥ! NEXT グローボ蘇我店」を12月2日にリニューアルオープンいたしました。同店は「ゴルフドゥ! NEXT」の3号店であり、自社運営のゴルフスクールを併設する初の店舗として、本格的にサービス需要の取り込みを図り、店舗における収益力の強化につなげてまいります。費用面については、前第3四半期連結累計期間と比較して大きく上回っているものとして、第2四半期連結累計期間から引き続き広告宣伝費及び貸倒引当金繰入額があげられます。広告宣伝費は「EC戦略の強化」に関するものであり、貸倒引当金繰入額については、2023年8月10日に開示した「貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ」のとおり、当社への売掛債権及び貸付債権に対して引き続き計上となったものです。

直営事業においては、「ゴルフドゥ!」直営店の10月、11月が購入客数に加えて購入単価も前年同月を下回り、加えて人員不足も改善が進まず苦しい状況が続きました。しかしながら、12月は「ゴルフドゥ! NEXT グローボ蘇我店」のリニューアル、「メルカリShops」への出店、人気ブランドの新製品発売により状況が一変し、5店舗が過去最高の月間売上高となり、全店ベースでも過去最高の月間売上高となりました。また、コロナ禍前である2019年度の第3四半期連結累計期間に対する同店の売上高増減率は、全店ベースで38.6%増となりました。なお、当第3四半期連結累計期間の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含まず）は、全店ベースで0.9%減、既存店ベースで1.3%減となりました。

フランチャイズ事業においては、ゴルフ人気が下火傾向となるにつれて「ゴルフドゥ!」フランチャイズ店の新規加盟開発も苦戦を強いられており、減少傾向の店舗数に加えてロイヤリティ収入にも影響が及んできております。また、「ゴルフドゥ! オンラインショップ」に「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」を加えたEC系販売は販売チャネルとしての重要度が増すものの、販売先行による在庫減少の問題が直営店以上に顕著化してきており、買取りの増強が急務となっております。なお、当第3四半期連結累計期間の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含む）は、全店ベースで6.7%減、既存店ベースで5.1%減となりました。

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ!」の新規オープンはフランチャイズが1店舗（4月29日「コジマ小山店」）で、2023年12月31日現在の「ゴルフドゥ!」は、直営24店舗、フランチャイズ48店舗（当社子会社運営店舗を含む）、合計72店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース4.1%減、既存店ベース3.4%減となりました。

営業販売事業においては、米国のインフレや円安による輸入品のコスト上昇が続き、卸売り及びECモールに出店する「GOLF J-WINGS」は厳しい状況が続いておりますが、米国子会社は米国内向けの小売りにも注力し始めており、日本から送られてくる中古クラブの売れ行きも良く、業績回復へ向けて卸売りに加えてもうひとつの柱づくりを進めております。

アパレル事業においては、9月に続いて10月も気温が高かったことから秋物の立ち上がりが鈍かったものの、11月以降は季節物の売れ行きが客数の増加とともに改善いたしました。また、12月は過去最高の月間売上高となり、当第3四半期連結累計期間の売上高と粗利益は前年同期を上回り、利益も増加傾向にあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高42億90百万円（前第3四半期連結累計期間は売上高47億17百万円）、営業損失20百万円（前第3四半期連結累計期間は営業利益1億29百万円）、経常損失57百万円（前第3四半期連結累計期間は経常利益1億32百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失84百万円（前第3四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は32億40百万円（前年同四半期売上高は32億72百万円）、セグメント利益は1億93百万円（前年同四半期セグメント利益は2億96百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は3億48百万円（前年同四半期売上高は4億95百万円）、セグメント利益は24百万円（前年同四半期セグメント利益は1億13百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は7億46百万円（前年同四半期売上高は9億89百万円）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期セグメント利益は3百万円）となりました。

（アパレル事業）

当第3四半期連結累計期間におけるアパレル事業の売上高は40百万円（前年同四半期売上高は40百万円）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期セグメント利益は2百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円の減少となり、32億29百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円の増加となり、25億5百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億62百万円、売掛金が27百万円、未収還付法人税等が20百万円増加、商品が1億94百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ64百万円の減少となり、7億24百万円となりました。これは主に繰延税金資産が19百万円減少、貸倒引当金が38百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ34百万円の増加となり、24億81百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ49百万円の減少となり、15億30百万円となりました。これは主に買掛金が89百万円、未払法人税等が69百万円減少、短期借入金が70百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ84百万円の増加となり、9億51百万円となりました。これは主に長期借入金が92百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ96百万円の減少となり、7億47百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億9百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は22.2%（前連結会計年度末は24.7%）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月13日付で公表いたしました内容（詳細は同日付公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」）をご参照ください。に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	655,352	817,825
売掛金	261,413	288,641
商品	1,524,041	1,329,929
短期貸付金	5,948	—
未収還付法人税等	374	20,770
その他	55,179	52,342
貸倒引当金	△497	△4,417
流動資産合計	2,501,812	2,505,092
固定資産		
有形固定資産	291,018	280,714
無形固定資産	181,457	173,993
投資その他の資産		
投資有価証券	19,872	25,152
長期貸付金	33,441	38,742
敷金及び保証金	175,269	179,612
繰延税金資産	55,717	36,368
その他	34,969	30,743
貸倒引当金	△2,595	△40,910
投資その他の資産合計	316,673	269,708
固定資産合計	789,149	724,417
繰延資産		
社債発行費	240	—
繰延資産合計	240	—
資産合計	3,291,202	3,229,510
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	417,652	327,780
短期借入金	600,000	670,000
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	196,659	222,450
未払法人税等	69,799	441
賞与引当金	29,892	10,618
ポイント引当金	35,597	34,442
株主優待引当金	13,460	7,524
その他	196,384	256,875
流動負債合計	1,579,446	1,530,133
固定負債		
長期借入金	562,654	655,110
退職給付に係る負債	163,137	166,403
資産除去債務	87,175	87,714
その他	54,534	42,300
固定負債合計	867,501	951,528
負債合計	2,446,947	2,481,661

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	152,879	43,597
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	739,750	630,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,619	8,147
為替換算調整勘定	69,907	79,771
その他の包括利益累計額合計	74,526	87,918
新株予約権	29,977	29,461
純資産合計	844,254	747,849
負債純資産合計	3,291,202	3,229,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,717,949	4,290,397
売上原価	2,972,628	2,670,418
売上総利益	1,745,321	1,619,978
販売費及び一般管理費	1,615,947	1,640,916
営業利益又は営業損失(△)	129,373	△20,938
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,532	1,423
受取手数料	4,478	4,495
為替差益	1,430	361
助成金収入	3,869	1,181
その他	2,602	3,185
営業外収益合計	13,913	10,646
営業外費用		
支払利息	9,668	7,834
貸倒引当金繰入額	—	38,314
その他	688	1,234
営業外費用合計	10,357	47,384
経常利益又は経常損失(△)	132,930	△57,675
特別損失		
固定資産除却損	1,838	1,518
特別損失合計	1,838	1,518
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	131,092	△59,194
法人税、住民税及び事業税	50,242	7,256
法人税等調整額	891	17,766
法人税等合計	51,134	25,022
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,958	△84,217
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	79,958	△84,217



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	79,958	△84,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,492	3,527
為替換算調整勘定	15,744	9,864
その他の包括利益合計	20,237	13,391
四半期包括利益	100,195	△70,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,195	△70,825
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,272,205	485,854	919,716	40,172	4,717,949	—	4,717,949
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	9,592	69,815	—	79,407	△79,407	—
計	3,272,205	495,447	989,531	40,172	4,797,357	△79,407	4,717,949
セグメント利益	296,468	113,497	3,897	2,734	416,597	△287,223	129,373

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,240,556	338,021	671,621	40,197	4,290,397	—	4,290,397
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	10,400	74,765	—	85,165	△85,165	—
計	3,240,556	348,422	746,386	40,197	4,375,562	△85,165	4,290,397
セグメント利益 又は損失(△)	193,211	24,507	2,616	1,525	221,860	△242,798	△20,938

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## 売上高前年対比等

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2023年10月	2023年11月	2023年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
ゴルフドゥ！全店	93.4%	90.8%	103.2%	95.7%	95.9%
ゴルフドゥ！既存店	95.0%	93.2%	105.2%	97.7%	96.6%
同 直営店 全店	96.9%	93.3%	109.2%	99.8%	99.1%
同 直営店 既存店	96.9%	93.6%	108.3%	99.5%	98.7%
同 FC店 全店	90.6%	88.7%	98.0%	92.3%	93.3%
同 FC店 既存店	93.4%	92.9%	102.5%	96.1%	94.9%

当第3四半期連結累計期間におけるEC系の売上高前年対比、セッション数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2023年10月	2023年11月	2023年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
売上高前年対比	142.1%	119.3%	140.6%	133.5%	128.8%
セッション数前年対比	146.5%	116.9%	149.9%	136.8%	141.8%
会員数（合計）					420千人
会員数前年増加率					9.1%

- (注) 1. 当第3四半期決算短信より、アクセス数をより具体的な指標名であるセッション数に変更しております。
2. 当第3四半期決算短信より、売上高前年対比及びセッション数前年対比（2024年3月期第2四半期決算短信までの指標名はアクセス数前年対比）は、前第3四半期連結累計期間の「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の実績と、当第3四半期連結累計期間のEC系実績（「ゴルフドゥ！オンラインショップ」、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」及び「メルカリShops」の合計）との対比に変更しております。
3. 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。